【九州大学大学院医学系学府保健学専攻の概要】

この度は、九州大学大学院医学系学府保健学専攻の修士課程および博士後期課程の入試説明会サイトをご覧いただき有り難うございます。

本保健学専攻の修士課程は、2007 年（平成 19 年）4 月に 1 期生を迎え入れ、これまでに 370 名の修士を輩出しております。また 2011 年（平成 23 年）10 月には国際コースを医学系学府保健学専攻修士課程にアジア国際コースを設置し、2015 年（平成 27 年）4 月には、助産学コースを設置しました。また、博士後期課程は、2009 年（平成 21 年）4 月に設置し、これまでに 93 名の博士を輩出しています。

現在、修士課程には 72 名（うち社会人 7 名、留学生 3 名）、博士後期課程には 35 名（うち社会人 32 名）の大学院生が在籍しています。

本保健学専攻は、保健・医療・福祉に求められる多様な問題に対応するために、保健学領域の学問体系を確立するとともに、新たな知的資源を創出し、その成果を国内のみならず国際社会に広く還元することを基本理念としています。

保健学専攻には、修士課程（すなわち博士前期課程）と博士後期課程があります。修士課程では、保健学における創造性豊かな優れた研究・開発能力を有する教育者・研究者の養成、及び保学分野における研究マインドをもった実践的指導者や組織リーダーを養成します。具体的には、「豊かな人間性を備えた人材」、「高度化ずる医療に対応できる人材」、「全人的チーム医療に対応する人材 」、「高齢社会の医療に対する人材」、「医療の情報化に対応する人」、「教育・研究者へと発展可能な人材」、「国際医療の場で活躍できる人材」といった資質を持つ人材を養成します。

修士課程には、看護学分野、医用量子線科学分野、検査技術科学分野の専門分野及びアジア保健学コースがあり、これらを合わせて定員は 20 名、これに助産学コースの 7 名が加わり修士課程は合計 27 名の定員です。

博士後期課程では、保健学領域における豊かな学識の滋養を基盤としつつ、自立した研究活動を行う能力を持つ教育者・研究者、看護・医療技術領域における実践能力と高い教育・研究能力を併せ持つ人材を養成します。博士後期課程には、医療技術系　教育者･研究者養成コース（主に診療放射線技師や臨床検査技師が対象）と看護学　教育者･研究者養成コース（主に看護師が対象）及び保健学国際コースがあり、合わせて定員は 10 名です。

得られる学位は、修士課程修了者では、修士（保健学）または修士（看護学）、博士後期課程修了者では、博士（保健学）または博士（看護学）です。

基本的に、修士課程は 2 年、博士後期課程は 3 年ですが、本学では社会人のために修士は 3 年間、博士後期課程は 4 年間の長期履修コースを設けています。くわしくは募集要項をご覧ください。